

辻小だより

令和8年6月30日
さいたま市立辻小学校
第4号

学校ホームページはこちらから！



辻小の子どもたちに身に付けさせたい力

気温が平年並みに落ち着き、しっとりとした空気に包まれる初夏の季節となりました。新しい学年に進級して3か月が経ち、1学期もまとめの7月を迎えています。子どもたちは楽しみにしている夏休みを前に、1学期を振り返りながら、学習や生活のまとめに意欲的に取り組み、充実した日々を過ごしています。

6月20日（土）から22日（月）まで、5年生が福島県の南会津の「館岩少年自然の教室」で宿泊学習を行いました。「協力し 安全に 自然に親しみ 楽しもう」のスローガンのもと、フィールドワークや前山登山、川魚さばきや焼き板づくりなどさまざまな活動を通して自然の素晴らしさを体いっぱいに味わっていました。親元を離れての2泊3日の集団生活では、自分の役割をしっかりと果たし、仲間と協力しながら活動する姿や困っている友だちにやさしく声をかける姿が見られ、一回り大きく成長した様子を感じられました。また、天候の関係により室内で行ったキャンドルファイヤーでは、学年のまとまりと5年生らしい明るさや力強さが存分に発揮され、印象深い時間となりました。本校の活動を支えてくださった館岩少年自然の家の皆様、そして当日までの体調管理や準備、朝早くの見送りや夕方の出迎えに御協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。今後の5年生のさらなる成長と活躍が楽しみです。

さて、このような自然体験や五感を通した活動を通して育まれる力として、近年「非認知能力」が注目されています。これは、コミュニケーション力や意欲、忍耐力など数値での測ることが難しい力のことで、OECD（経済協力開発機構）では「社会情動的スキル」とも呼ばれています。一方で、テストの点数や偏差値、IQ（知能指数）など数値で表されるものは「認知能力」とされています。

こうした視点から見ると、学校は子どもたちにとって大変重要な学びの場であると言えます。同級生や異学年の友だち、さまざまな教職員とのかかわりを通して、子どもたちは互いに影響し合いながら成長していきます。また、国語や算数といった教科の学習だけでなく、道徳や学級での話合い、運動会や校外学習、クラブや委員会、さらには給食や日直などの当番活動、休み時間や掃除、登下校に至るまで、学校生活のあらゆる場面が子どもたちの力を育てる大切な機会となっています。このような一つの積み重ねを大切にしながら、これからも保護者や地域の皆様と手を取り合い、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。

最後に、5、6月は学校運営協議会をはじめ、学校連絡協議会、小中高地域連携会議を開催いたしました。多くの地域の皆様から温かい御意見や励ましのお言葉をいただき、子どもたちが多くの方々に見守られていることを改めて実感いたしました。いただいた期待にしっかりと応えられるよう、今後も教育活動の充実に努めてまいります。